

令和 6年 3月 31日

大東市長 様

## 令和 5 年度提案公募型委託事業に関する報告書

団体名：NPO 法人 空家空室再生ネットワーク

事業名：ウィズコロナでも変わらない空家問題ハイブリッドセミナー

1. 実施内容
2. 事業の報告（イベント等の写真を付けてください）

## 1. 実施内容

7月 28 日	セミナーチラシ印刷
7月 28 日	区長会役員会 PR
8月 18 日	チラシ配布 ●大東市広報掲示板●大東市福祉センター●サーティホー ル●大東市内3ヶ所図書館●大東市都市政策面●飯盛プラザ ●市民会館●アクロス●アクティブスクエア●納税協会● 他金融機関、各企業
8月 18 日	ポスター掲示
9月 4 日	セミナー 事前登録受付開始
9月 8 日	大東市 facebook 掲載
	大東市都市政策課に広報の依頼
10月 30 日	現地調査 (Zoom 配信テスト)
	各自治会区長に動員依頼
11月 3 日	アンケート作成
	エントリーフォーム作成
	ダウンロード資料設置
	メール配信
11月 6 日	メール配信
11月 8 日	メール配信
	大東市 facebook 掲載
11月 10 日	メール配信
11月 11 日	ハイブリッドセミナー実施
11月 13 日	Web サイト MV 変更 イベント実施のお知らせアップ
11月 13 日	アンケートフォーム閉鎖

## 2. 事業の報告

### 計画した事業

「ウィズコロナでも変わらない空家問題ハイブリッドセミナー」

令和5年11月11日 午後1時～ 開催

### 計画時の期待する効果

1 少子高齢化・人口減少などに伴い、空家・空地・空店舗・空借家等といった適正管理されていない不動産が全国に増加しております。この状況は単に空家があるという問題にとどまらず、周辺地域の防災・防火・イメージダウンによる地域全体のマイナス問題となっていきます。

その結果、地域全体の人口流出・地域経済の衰退といった様々な問題を引き起こす可能性を秘めた問題となっています。そこで、行政や地域との連携をはじめ、建築・土木・不動産・税務・法務など各専門家スタッフによる、空き家を通じて地域活性につなげていく活動を推進していく必要性があります。

そのような空家問題を検証し、どうすれば空家を活性化し、地域活性に繋げる事ができるのかを情報発信し、当NPOに相談頂きながら解決を図りたいと考えます。

### 結果

(A) どんな内容だったか？集客数は？計画時の期待する効果と照らしてどうだったか？  
内容

セミナーのテーマは、

「ウィズコロナでも変わらない空家問題ハイブリッドセミナー」と題し、

1. 空き家背景の社会構造の変化
2. 空き家・所有者不明土地の現状
3. 空き家の出口 利用・売却

「空家問題」について、3つの項目を通して皆様のお役に立つ情報を伝えました。

### 集客数

広報としては、市の広報誌、大東市広報掲示板、役所のSNS、役所の出先施設、当法人のHP、SNS、NPOメンバーの知人や、関係施設他、都市政策課に広報の依頼、各自治会区長に動員依頼しチラシの設置及び配布頂き、興味をもっていただいた方に、ネットから事前登録をして頂き、約70の方に登録、来場、視聴いただきました。

アンケートは、約半数の方にご回答いただきました。

事前登録：現地：15 ライブ：57 計：72

参加者：現地：15 ライブ：52 計：67

## ウィズコロナでも変わらない空家問題ハイブリッドセミナー 令和5年11月11日午前13時～開催



## アンケート結果

2023年11月11日開催分



## 効果

令和5年度大東市提案公募型委託事業の予算を頂戴し、コロナが収束しましたので市民会館で対面型のセミナーとWEBを利用したハイブリッド形式のセミナーを開催させて頂きました。

今までのよう、会場に集客する方法では限られた人数となります。

コロナ禍でセミナー集客手法の価値観も変わり、WEBを利用する方法も一般的スタイルとなり、地域に限定されず、大東はもとより、ご自宅、職場、外出先のスマホからもネットを通して視聴が可能となり、より広く、より沢山の市民の方々に視聴して頂ける機会となりました。

WEBの長所と会場リアルの長所をあわせたセミナーとすることことができました。

会場には15名、WEBでは約60名の方々の視聴を頂き、これまでのWEBだけのセミナーではわからない、参加者の方々の温度感がわかりました。

空き家問題セミナーを継続することに意義があると、回を重ねるたびに思います。

今回、受講された方で空き家を所有されている方の割合はわずかでしたが、今後益々人口が減少していく社会の中で、空き家問題が、いつ我が事として直面するかわからない状況です。空き家問題は、その問題に直面しないとピンとこない問題です。

いざ、このような空き家問題が起きても、すぐに対処できないのが現状です。

当法人の立場は、行政のだした方針に対して、広く市民の方々や事業者との橋渡し役だと認識しています。

また、これは一定の限られた人だけでなく、地域の皆さんの問題、社会問題です。

今後も、地道ではありますが、この活動を続けていくことに意義があると思います。

今後もメンバーと一緒に啓蒙活動を広げていきたいと思います。

又、今回は市役所の都市政策課の職員の方にもご参加頂き、我々の活動についてご理解頂きました。

今後は、市と更に連携を深め、互いに補完しつつ“空き家問題”を協働で解決できれば更に良いことだと思います。

## 検討事項

本年度のセミナーについては、大東市にもご協力頂き、課を横断しながら空家の所有者様に直接的なアナウンスができるよう活動を行います。

地道ではありますが、この活動を続けていくことに意義があると思います。

今後もメンバーと一緒に啓蒙活動を広げていきたいと思います。

又、今回は市役所の都市政策課の職員の方にもご参加頂き、我々の活動についてご理解頂きました。今後は、市と更に連携を深め、互いに補完しつつ“空き家問題”を協働で解決できれば更に良いことだと思います。